

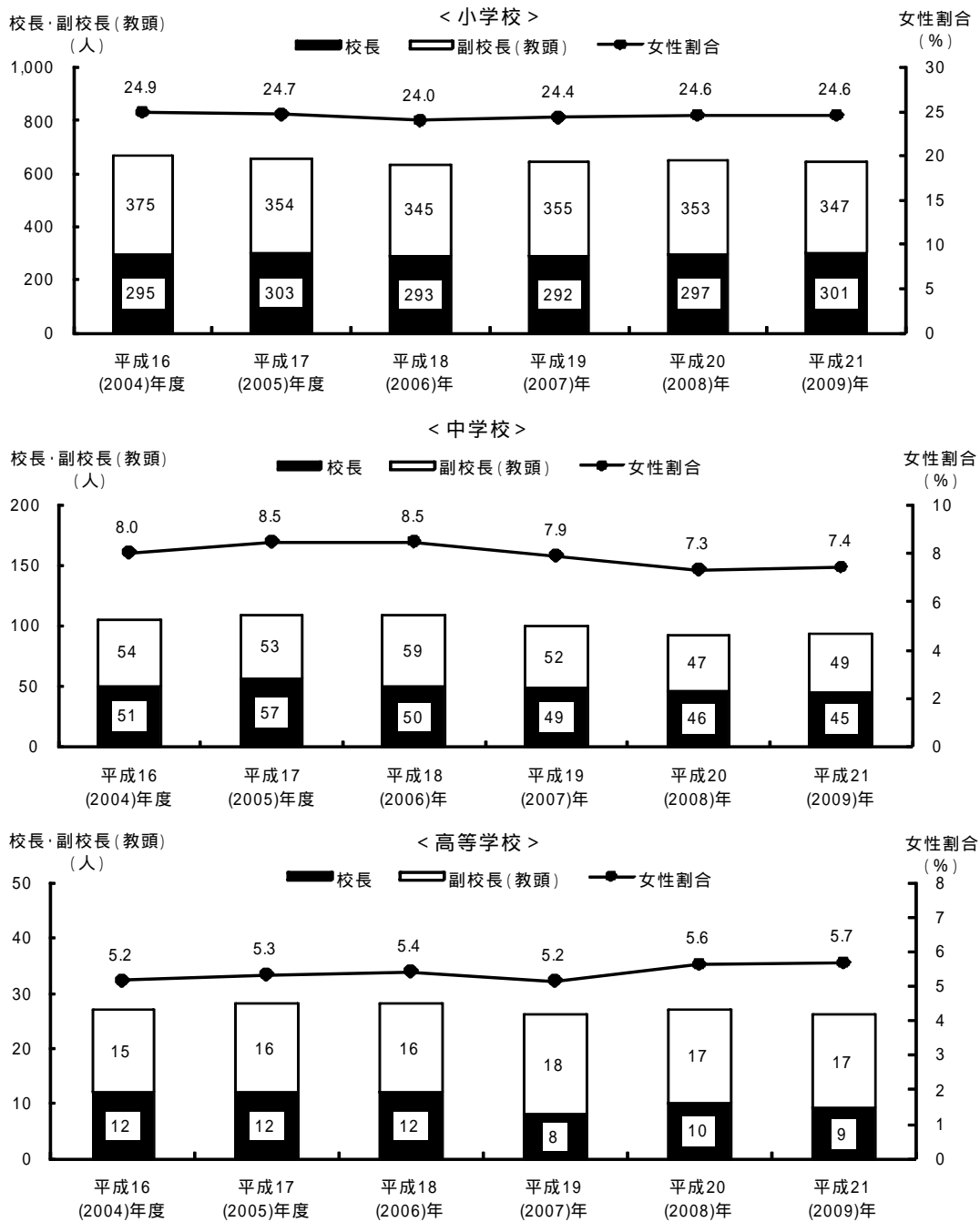
男女平等参画を推進する社会づくり

1. 教育・学習

1. 管理職（校長・副校長（教頭））に占める女性の割合

都の平成 21（2009）年度の校長・副校長（教頭）に占める女性の割合は、小学校が 24.6%、中学校が 7.4%、高等学校が 5.7%となっている。

図表 - 1 - 1 管理職（校長・副校長（教頭））に占める女性の割合の推移（都）



注1：各年5月1日現在

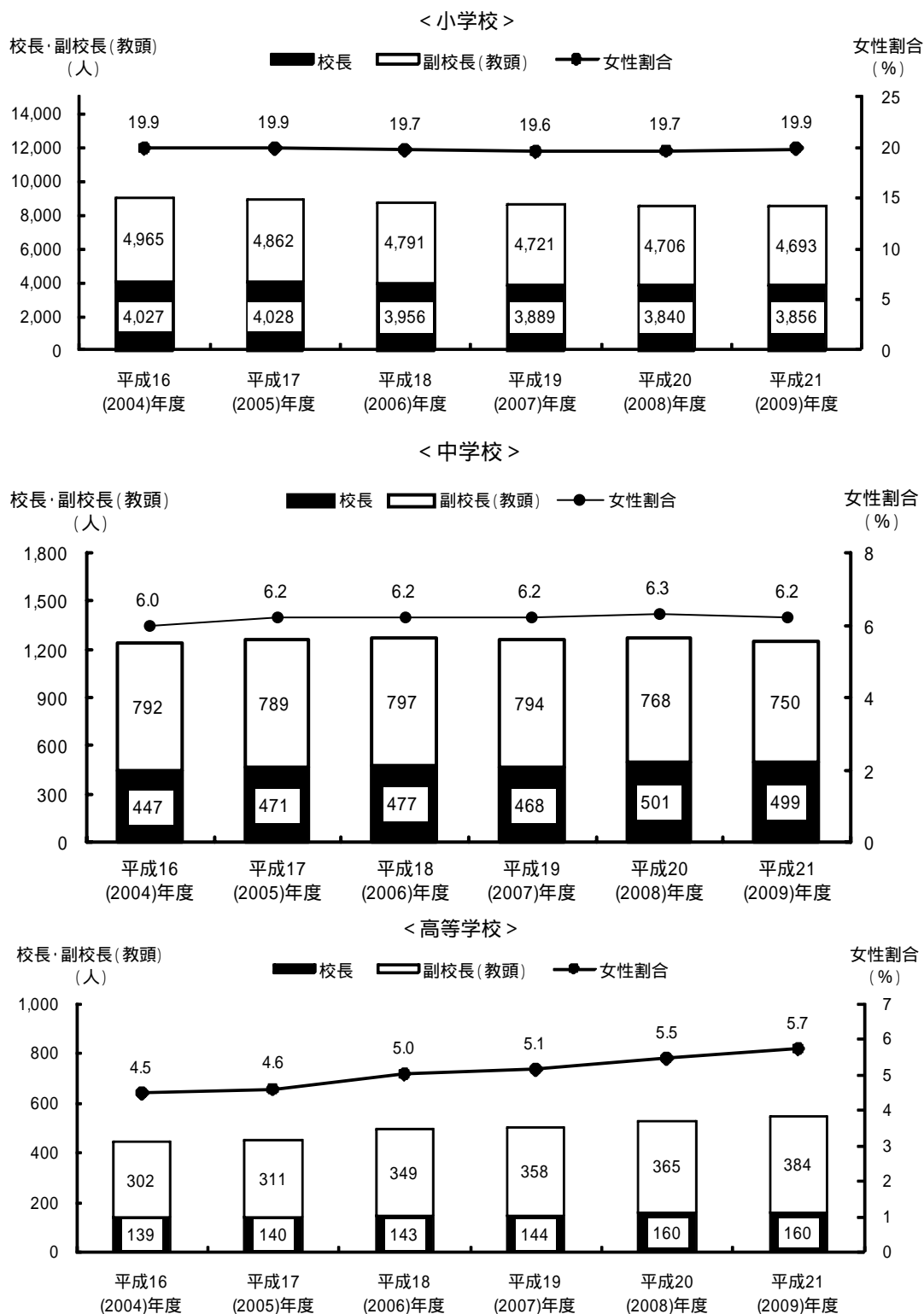
注2：調査対象は公立の学校

注3：学校教育法の改正により平成20（2008）年度から教員数の「教頭」を「副校長」に変更した。

資料：東京都教育委員会「平成21年度公立学校統計調査報告書・学校調査編」

全国の平成 21 (2009) 年度の校長・副校長(教頭)に占める女性の割合は、小学校が 19.9%、中学校が 6.2%、高等学校が 5.7%となっている。

図表 - 1 - 2 管理職(校長・副校長(教頭))に占める女性の割合の推移(全国)



注1：各年5月1日現在

注2：調査対象は公立の学校

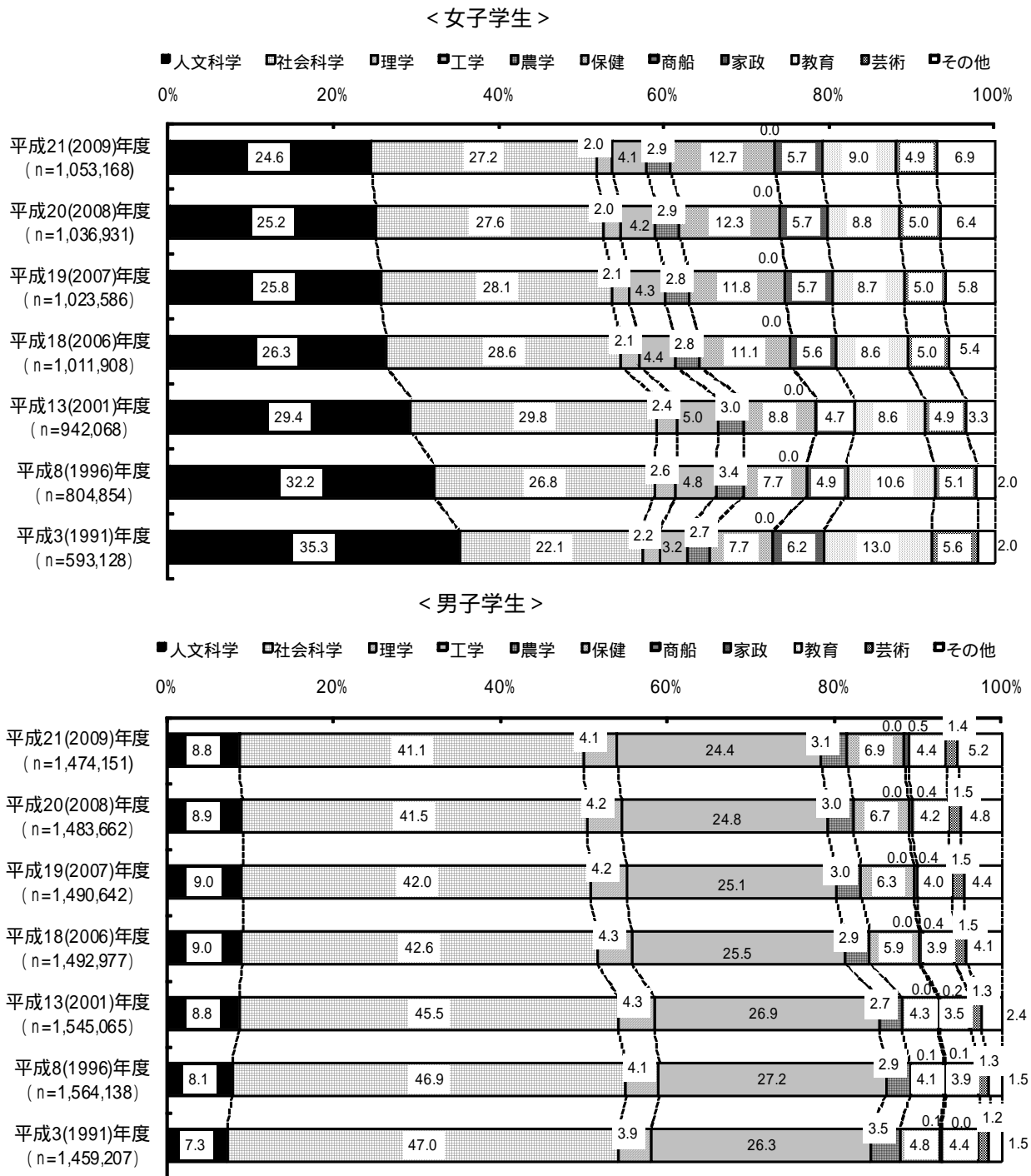
注3：学校教育法の改正により平成20(2008)年度から教員数の「教頭」を「副校長」に変更した。

資料：文部科学省「学校基本調査」

2. 大学生の学部別構成比

大学生の学部別構成比の推移をみると、女子学生では人文科学の割合が低下し、社会科学の割合が増加傾向にある。平成21(2009)年度は社会科学が27.2%と最も多くなっている。男子学生では社会科学の割合が減少傾向にある。

図表 - 1 - 3 大学生の学部別構成比(全国)



注1：学部学生を関係学科により分類

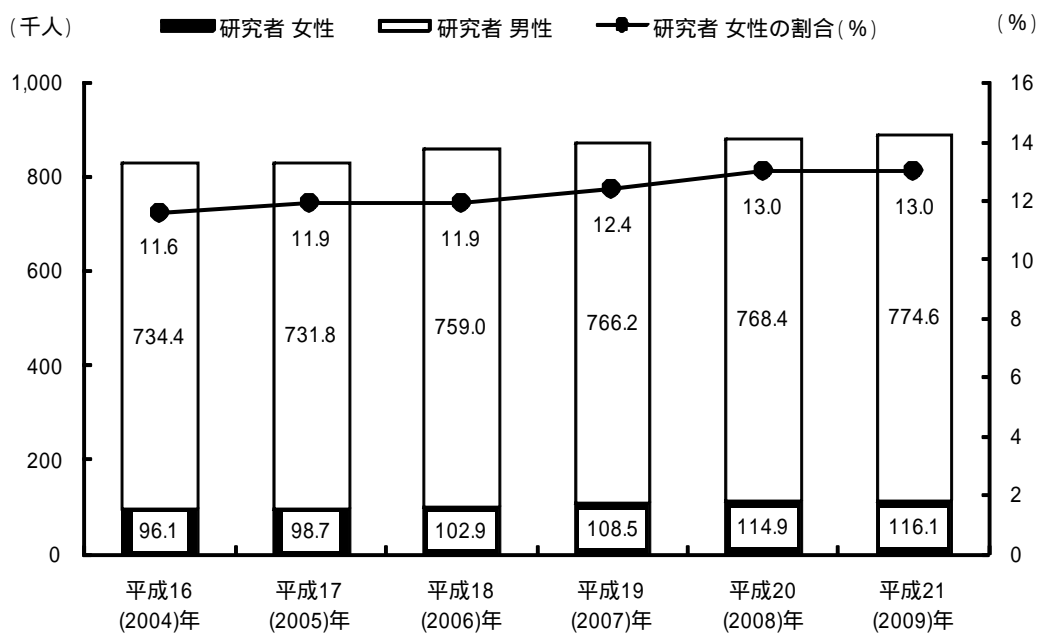
注2：各年度5月1日現在

資料：文部科学省「学校基本調査」

3. 研究者に占める女性の割合

平成 21 (2009) 年の企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究者に占める女性の割合は 13.0% で昨年と同じ水準である。

図表 - 1 - 4 研究者に占める女性の割合の推移(全国)



注1：企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究関係従業者数（実数）のうち研究者の数。研究者とは大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者（又はこれと同等以上の専門的知識を有する者）で、特定の研究テーマをもって研究を行っている者をいう。

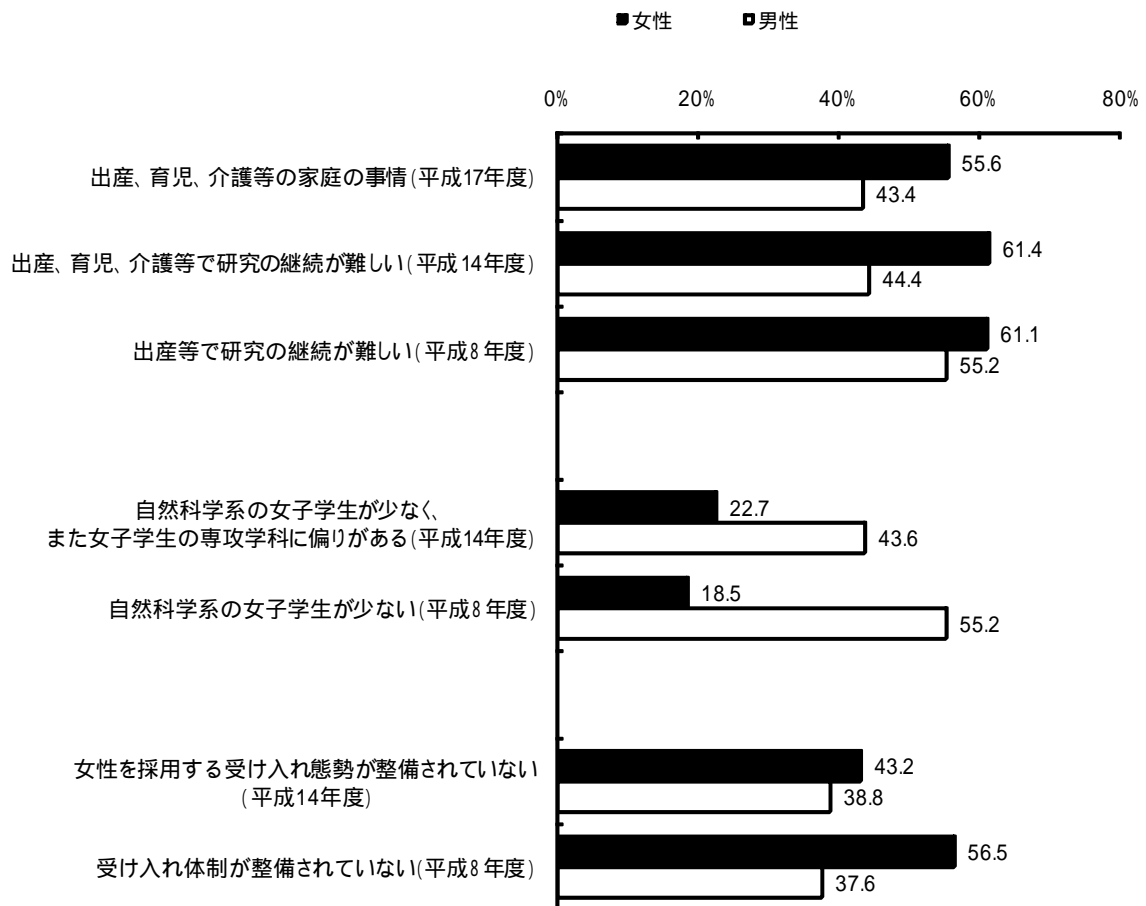
注2：各年3月31日現在

資料：内閣府「平成20年版男女共同参画白書」（平成19年まで）、総務省「科学技術研究調査報告」（平成20年以降）

4. 女性研究者が少ない理由

女性研究者が少ない理由としては、「出産・育児・介護等で研究の継続が難しい」ことや、女性を採用する「受け入れ体制が整備されていない」ことなどが上位になっている。

図表 - 1 - 5 女性研究者が少ない理由(全国)



注：文部科学省「我が国の研究活動の実態に関する調査報告」より作成

資料：内閣府「平成20年版男女共同参画白書」